

VMware Partner Connect マネージド サービス プロバイダー 運用ハンドブック

Cloud Director service

2020 年 12 月

目次

VMware Cloud Partner Navigator の概要	3
VMware Cloud Director™ service の概要	4
オンボーディングのワークフロー	4
一般的な利用時のオンボーディングのワークフロー	5
サービスのプロビジョニングと管理	5
サブスクリプションの購入	6
VMware Cloud Provider Commerce Portal での Cloud Director service の請求	6
サポート モデル	7
参考用リンク	7

VMware Cloud Partner Navigator の概要

IT の課題を解決するためにパブリッククラウドやクラウド サービスを利用されるお客様が増えています。クラウド プロバイダーは、スキル、運用、規模、マネージド サービスを提供して、お客様がマルチクラウドの運用を進められるよう支援します。マルチクラウド環境への移行が進むにつれて、クラウド プロバイダーにも進化が求められます。しかし、クラウド プロバイダーは、運用のサイロ化、カスタム ツール、運用コストの高さ、サービス管理ソリューションへの投資の増大など、マルチクラウドの複雑性という課題に直面します。

VMware Cloud Partner Navigator は、VMware のマルチクラウド サービスの展開、プロビジョニング、管理のための、VMware Cloud Provider パートナー様向け統合ポータルです。Cloud Partner Navigator によって、マネージド サービスを提供するための基盤となるエンドツーエンドのお客様のライフサイクル管理と、VMware のマルチクラウド サービスによるパートナー様のマネージド サービスのポートフォリオの拡充が実現します。

Cloud Partner Navigator のメリット

- **迅速なサービス導入**：ビジネスを拡大し、お客様のより多くの需要に応えることを考えているパートナー様は、この拡張性のある統合ポータルを活用することで、VMware のマルチクラウド サービスの取引、展開、管理を迅速に行うことができます。
- **カスタマー エクスペリエンスの向上**：お客様およびクラウド プロバイダーの両者に向けたセルフサービス機能が用意されています。お客様は利用するサービスの監視と制御を簡単に行うことができ、クラウド プロバイダーにはきめ細かな制御ができるメリットがあります。
- **運用効率の向上**：パートナー様は、統合管理により、マネージド サービスのポートフォリオをアセットライクな VMware クラウド環境へと拡張できます。



VMware Cloud Director™ service の概要

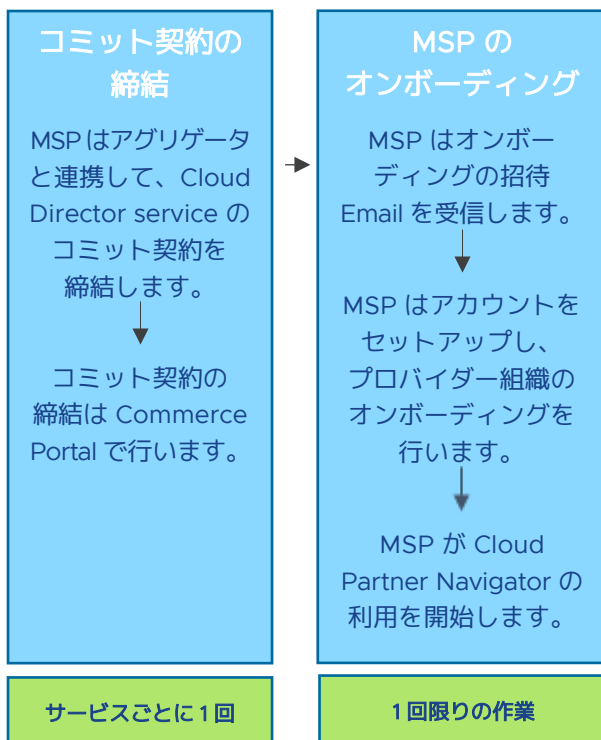
VMware Cloud Director™ service は、マネージドクラウドサービスとなっており、クラウドプロバイダーがこのサービスを利用すると、ハイブリッドクラウドの導入に乗り出そうとしている中小規模の企業向けに、VMware Cloud on AWS キャパシティを小規模のセキュアで分離された仮想リソース プールに分割することができます（このリソース プールは、柔軟な仮想データセンターと呼ばれます）。また、クラウドプロバイダーは、グローバルに展開されているという VMware Cloud on AWS の特長を活かして、自社のクラウド製品やサービスを新しい地域、顧客、業種、ビジネス部門へとシームレスに拡張することも可能になります。

オンボーディングのワークフロー

前提条件

Cloud Director service は VMware Cloud on AWS にマルチテナントを提供するので、クラウドプロバイダーは VMware Cloud Director™ service のコミット契約を締結する前に、VMware Cloud on AWS のコミット契約を締結する必要があります。

VMware Cloud on AWS のコミット契約を締結すると、クラウドプロバイダーは次のような流れで Cloud Director service の契約を締結できます。

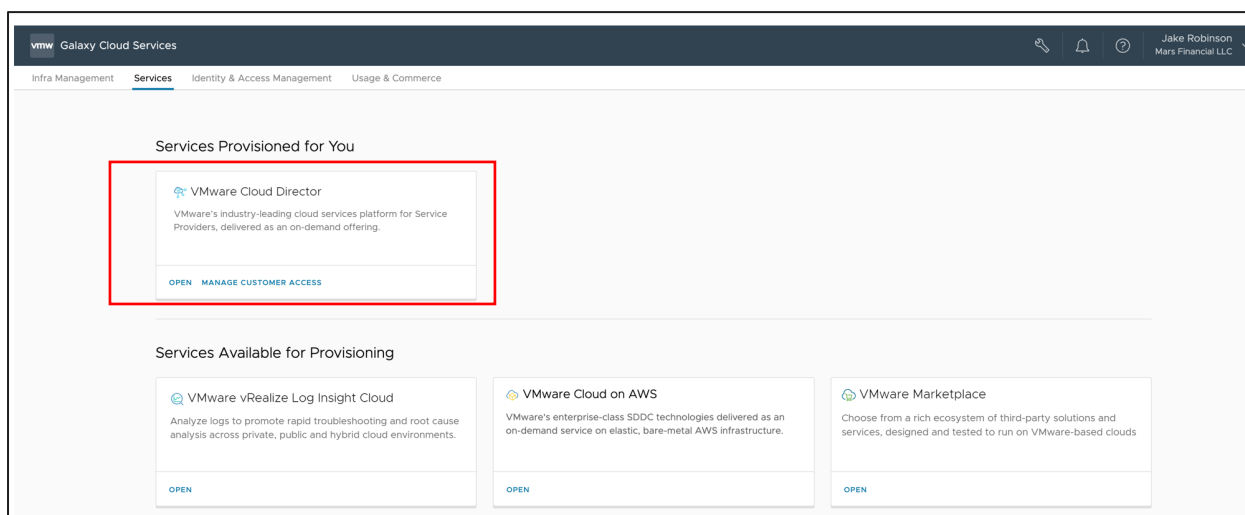


一般的な利用時のオンボーディングのワークフロー

- MSP が VMware とコミット契約を締結します。
- VMware の運用チームが、契約内容に従って MSP の Cloud Director service インスタンスをセットアップします。
- Cloud Partner Navigator のプロバイダー組織で Cloud Director service が有効化されます。ほかのサービスとは異なり、Cloud Director service はプロバイダー組織でのみ利用できます。
- SDDC はプロバイダーに使用される共有リソースになるため、VMware Cloud on AWS の SDDC キャパシティも同じプロバイダー組織から使用できる必要があります。

サービスのプロビジョニングと管理

Cloud Director service のプロビジョニングは、VMware Cloud on AWS や vRealize Log Insight Cloud など、Cloud Partner Navigator 上のほかのサービスと同様です。Cloud Director service のコミット契約を締結すると、Cloud Partner Navigator に Cloud Director service タイルが表示されます。



これで、クラウド プロバイダーは Cloud Director service にアクセスして 1 つ以上の Cloud Director インスタンスを展開できるようになります。インスタンスが作成されると、クラウド プロバイダーはそのインスタンスを VMware Cloud on AWS で作成された SDDC にリンクすることができます。

サブスクリプションの購入

Cloud Director service を利用するには、2 つのサブスクリプション モデルがあります。

- **オンデマンド**：純粋な従量課金制のサービスで、クラウド プロバイダーは、月ごとに使用量分の料金を時間単位で請求されます。
- **前払い**：クラウド プロバイダーは契約に従って、1 年または 3 年契約で一括前払いで料金を支払います。オンデマンドの価格よりも割引が適用されます。さらに、コミット レベルに応じた MSP 割引も併せて適用されます。

VMware Cloud Provider Commerce Portal での Cloud Director service の請求

VMware Cloud Provider Commerce Portal では、月単位で請求が掲載されます。料金は、VMware Cloud Director service の管理下にある 1 か月あたりのコア数に基づく請求のメトリックにより算出されます。

このサービスでは、クラウド プロバイダーが所有する組織内でリソースが使用されるため、顧客ごとの使用状況の内訳はありません。VMware Cloud Director service における顧客ごとの使用状況を算出するには、アドオンのユーティリティを使用する必要があります。これには、[vRealize Operations Manager Tenant App for VMware Cloud Director](#) または独自開発のソリューションを使用できます。

MSP コミット契約を締結しているパートナー様は、**毎月 10 日**までに Commerce Portal の [月次レポート] で使用状況を確認し、**15 日**までにアグリゲータにレポートを送信する必要があります。

サポート モデル

製品関連では、Cloud Director service に関する技術的なサポートおよび技術的でないサポートについては、次の方法を利用できます。

- Cloud Partner Navigator のサポート センターでサポート チケットを発行する
- コンソールのチャット機能を使用する
- 電話で問い合わせる

契約、使用量、請求、ライセンスの追加注文に関連したサポートについては、パートナー様は Commerce Portal でチケットを発行できます。

サポートの管理およびサポート チームへのお問い合わせの詳細については、以下のドキュメントをご覧ください。

- [顧客へのサポートを管理する方法](#)
- [チャット機能を使用して VMware テクニカル サポートに連絡する方法](#)
- [顧客の代理でサポート リクエストを作成する方法](#)

参考用リンク

役立つリソース	
VMware Cloud Partner Navigator について	Cloud Partner Navigator の設定方法
MSP スタート ガイド	MSP の価格設定ガイド
Cloud Director service の Web ページ	Cloud Director service のデータシート
Cloud Director service に関する FAQ	Cloud Director service ソリューションの概要
Cloud Director service Business Calculator	ホワイトペーパー：VMware Cloud Director services によるマルチテナント環境の構築
Cloud Director service のリファレンス アーキテクチャ	Cloud Director service のユースケースの概要
Cloud Director service の販売と設計に関して 考慮すべき事項	製品発表に関するブログ
VMware Cloud Director リモート アクセス VPN 導入ガイドの公開	デモ ビデオ
紹介ビデオ	



ヴィエムウェア株式会社 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5 浜松町スクエア 13F www.vmware.com/jp

Copyright © 2019 VMware, Inc. All rights reserved. 本製品は、米国および国際的著作権法および知的財産法によって保護されています。VMware 製品は、<http://www.vmware.com/go/patents> のリストに表示されている 1 件または複数の特許対象です。VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. およびその子会社の登録商標または商標です。他のすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。アイテム No. : vmw-pguide-temp-word

E:2019/02 J:2021/01